Imagica Robot Holdings Inc.

NEWS RELEASE

各　位

平成 27 年 4 月 9 日

会　　社　　名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代表者の役職氏名　代 表 取 締 役 社 長　塚　田　眞　人
（コード番号：６８７９　東証第一部）
問 合 わ せ 先　取締役常務執行役員 経営管理本部担当　安　藤　　潤
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０３－６７４１－５７４２

IMAGICA　カラーマネジメント技術を活かし Rec.709 色域外警告 3D-LUT 開発
EIZO 株式会社の4K モニター新製品に採用

～表示デバイス間の色再現性を補正～

当社子会社の株式会社IMAGICAは、映像制作における独自のカラーマネジメント技術を活かし、ITU規格Rec.709色域外警告3D-LUT（3D ルックアップテーブル※1）を開発いたしました。この3D-LUT技術がEIZO株式会社の新製品である4K液晶モニターに採用されましたので、お知らせいたします。

現行のハイビジョン放送における表現可能な色域は、ITU規格Rec.709が基準とされていますが、次世代UHD放送では、より広い色域を持つITU規格Rec.2020が基準となります。このたび開発した3D-LUTは、ITU規格Rec.2020で制作した色表現のうち、ITU規格Rec.709のディスプレイで再現できない色を判別するためのものです。

※1.表示デバイス間の色再現性の補正のため、映像信号を明るさ、鮮やかさ、色相の三方向に制御する参照テーブルのこと。

（添付資料　全 1 枚）
株式会社 IMAGICA　ニュースリリース
『IMAGICA カラーマネジメント技術を活かし Rec.709 色域外警告 3D-LUT 開発
EIZO 株式会社の 4K モニター新製品に採用』

以上



PRESS RELEASE

報道関係者各位

2015 年 4 月 9 日

株式会社 IMAGICA

IMAGICA　カラーマネジメント技術を活かし Rec.709 色域外警告 3D-LUT 開発

EIZO 株式会社の４K モニター新製品に採用

株式会社 IMAGICA（本社：東京都品川区東五反田、代表取締役社長：藤川幸廣、以下 IMAGICA）は、映像制作におけるカラーマネジメント技術を活かし、ITU 規格 Rec.709 色域外警告 3D-LUT（3D ルックアップテーブル※1）を独自に開発いたしました。この３D-LUT が、EIZO 株式会社（本社：石川県白山市、代表取締役社長：実盛祥隆、以下 EIZO）の新製品である４K 液晶モニターColorEdge CG318-4K、CG248-４K に採用されました。

映像制作において、見せたい色として決定した色彩が、他のデバイスでも同様に再現されるかどうかは重要なことであり、これを実現することは大きな技術的課題です。IMAGICA は色彩の再現性を常に重要と考え、カラーマネジメントに真摯に取り組んでまいりました。現行のハイビジョン放送における表現可能な色の範囲（色域）は 1990 年に策定された ITU 規格 Rec.709 が基準とされていますが、次世代 UHD 放送では、より広い色域を持つ ITU 規格 Rec.2020 が基準となります。このたび IMAGICA は、Rec.2020 の色域で制作した色表現が、Rec.709 の色域を持つディスプレイ上では意図通りに表示できないことに着目し、その再現できない色を警告する色域外判定処理実現のため 3D-LUT を開発しました。そして、この技術が EIZO の新開発の 4K 液晶モニターに採用されました。

IMAGICA は、カラーサイエンスの専門知識と豊富な経験をもつ技術スタッフにより、様々な面からカラーマネジメント技術の開発、検証を重ねています。今後、必須となるであろう Rec.2020 から Rec.709 への色域マッピング処理手法を独自に開発するなど、これからも、進化する表示技術における課題解決に取り組んでいます。

※1.　表示デバイス間の色再現性の補正のため、映像信号を明るさ、鮮やかさ、色相の三方向に制御する参照テーブルのこと

＜本件／取材に関するお問い合わせ先＞

株式会社 IMAGICA　事業開発室　広報担当：河野江見子

Mail:info@imagica.jp　TEL:03-3280-1427　FAX：03-3280-7503

MAGIC FACTORY imagica robot group